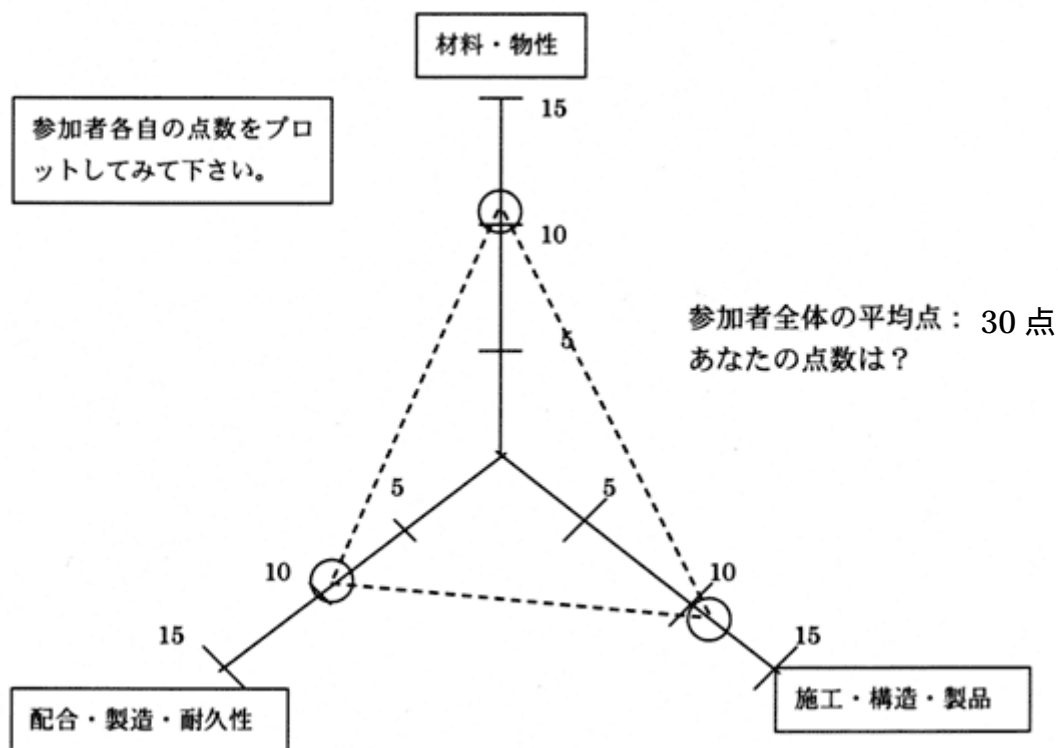


平成22年度コンクリート技士研修 専門知識自己診断テストの結果について

平成22年度のコンクリート技士研修では、参加者全員に、「専門知識自己診断テスト」に挑戦して頂きました。

本テストは、名称からも推察できるように、コンクリートに関する各自の専門知識レベルが現在どの程度にあるのか(技士資格取得当時のレベルを維持しているか、あるいは向上しているか、逆に低下しているか)を把握して頂くことを目的としています。その背景には、コンクリート分野への社会からの信頼がコンクリート技士の日ごろの業務に依存していることがあります。

試験の結果、参加者全体での平均点は30点(45点満点)、標準偏差は4.02でした。また、出題された問題群を、(1)材料・物性(研修時のテスト問題1～15)、(2)配合・製造・耐久性(テスト問題16～30)、(3)施工・構造・製品(テスト問題31～45)、の3分野に分類すると、各分野の平均点(15点満点)は、10.5点、9.7点、10.0点でした。それぞれの職種により得手不得手はあると考えられますが、技士研修に参加された方々には、各分野の得点(正解数)を下のチャートにプロットし、現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。



取得点数別受講者数

